

「オリゴ転移に対する最適な放射線治療方法に関する研究」に関するお知らせ

このたび、当院で診察を行った患者さんのカルテ情報を用いた以下の研究を実施いたします。本研究は、埼玉医科大学国際医療センター臨床研究 IRB の承認を得て、病院長による許可のもと行うものです。

本研究では、患者さんに追加でご負担をお願いすることはありませんが、カルテ情報を使用することに賛成でない場合、あるいはご質問がある場合は、患者さんご自身でもその代理人の方でも結構ですので、問い合わせ先までお申し出ください。お申し出いただいても不利益になることは一切ありません。

研究の概要について

1. 研究の対象となる方

2010年4月1日～2024年12月31日の期間に埼玉医科大学国際医療センターを受診し、悪性腫瘍と診断され、オリゴ転移(原発巣が制御された状態で5個以下の転移を有する症例)に対する放射線治療を実施した患者さんを対象としております。

2. 研究の目的

オリゴ転移に対する放射線治療方法は確立されておらず、最適な放射線治療方法、および安全性について研究を行います。

3. 研究期間

病院長の許可後～2030年3月31日

4. 利用または提供の開始予定日

研究実施許可後から、約1か月程度

開始予定日以降も研究への利用停止などのお申し出に対応いたします。

研究に用いる試料・情報について

1. 試料・情報の内容

カルテより放射線治療開始時年齢、Performance Status、原発疾患、オリゴ転移部位・個数、UICC病期(TNM)、病理組織型、合併症の有無、化学内分泌療法の有無、放射線治療の線量分割などを抽出します。この研究で得られた患者さんの情報は、埼玉医科大学国際医療センターにおいて、研究責任者である青鹿友美が、個人が特定できないように加工した上で管理いたします。そのため、患者さんのプライバシーが侵害される心配はありません。

2. 試料・情報の取得方法

オリゴ転移に対する放射線治療を施行した患者さんの検査データおよび診療記録等を用います。

3. 試料・情報を利用する者(研究実施機関)

埼玉医科大学国際医療センター 放射線腫瘍科 青鹿友美

4. 試料・情報の管理責任者

埼玉医科大学国際医療センター 病院長 佐伯俊昭

お問い合わせについて

ご自身のカルテ情報等を利用されたくない場合、あるいはご質問がある場合には、以下の連絡先までご連絡ください。

利用されたくない旨のご連絡をいただいた場合は、研究に用いられることはありません。

ただし、ご連絡いただいた時点で、既に研究結果が論文などで公表されていた場合、結果などを廃棄することができないことがありますので、ご了承ください。

埼玉医科大学国際医療センター 放射線腫瘍科 青鹿友美

〒350-1298 埼玉県日高市山根 1397-1

電話番号(代表)042-984-4111

○研究課題名：オリゴ転移に対する最適な放射線治療方法に関する研究

○研究責任者：埼玉医科大学国際医療センター 放射線腫瘍科 青鹿友美